館林市立第十小学校　令和４年５月１９日　第１号

# コミュニティ・スクールだより

## 学校長より

学校運営協議会ができたことによって、学校が地域の方とより連携を図ることができるようになりました。校長として大切なことは、みなさんといろいろなところで話すことだと思っています。協議会の場だけでは十分に話すことができないこともありますので、いろいろな場でみなさん一人一人からご意見を聞きながら、やれることをやっていきたいと思います。できることを話し合いをしながら見つけてきたいと思います。よろしくお願いいたします。

小林　秀夫

## 第１回学校運営協議会を開催しました

５月１１日（水）に、令和４年度第１回学校運営協議会を開催しました。本年度から１５名になった学校運営協議会委員の皆様に、第５校時の授業を参観していただいた後、多目的室で会議を行いました。

**令和４年度の学校運営協議会委員**は次の方々です

近藤区長、西公民館長、館林市国際交流協会会長、学校支援ボランティア、
六郷地区青少推会長、第十小学校見守り隊、主任児童委員、西公民館活動推進委員会、
西幼稚園長、第三中学校長、多々良中学校長、ＰＴＡ顧問、第十小学校長、
ＣＳディレクター

**学校運営協議会の内容**

（１）委嘱状交付
（２）教育委員会あいさつ
（３）学校運営協議会規則について
（４）学校長あいさつ
（５）自己紹介
（６）会長、副会長選出
（７）令和４年度第十小学校の学校経営方針の説明（校長）と質疑、承認
（８）令和４年度第十小学校学校運営協議会の取り組みについての協議
（９）学校関係者評価について
（10）年間行事計画について
（11）十小ボランティア心得・遵守事項、十小コミュニティ・スクール活動指針について

質疑・協議では次のような意見が出されました。

○昨年度の最後の会議には子どもたちの代表にも参加してもらいました。子どもから「もっと話したかった」という意見がありました。委員としても、子どもからもっと話を聞きたいと感じました。本年度も子どもと話ができる場を設定できるとよいと思います。
○子どもとの話し合いの場が大事だと感じました。子どもの意見を聞く場を設けたり、地域の方から子どものためにできることを聞いたりする場ができるとよいと思います。学校ために協力できるものはやっていきたいと思います。
○子ども同士が話し合う場、他学年や他校種との交流ができるような場が必要だと思います。
○地域の子どもと接する機会が少なく、地域の中での繋がり、保護者との繋がりが希薄になってきています。子どもと地域の役員との顔合わせができる機会をがあるとよいと思います。いろいろな行事のときに、声を掛け合ったりして、仲間を増やしていけるとよいと思います。
○協議会のときだけでなく、他にも意見交換ができる場所があるとよいと思います。学校が用意した熟議だけでなく、委員から提案する話し合いもできるとよいと思います。子どもたちは体験を通して学ぶことが多いので、コロナ対策をしながら、積極的に進めていけるとよいと思います。
○昨年、工業団地の見学に行ったことがとても有意義でした。これからも続けられるとよいと思います。
○安全マップ作りに子どもたちが真剣に取り組めてよかったと思います。
○旗振りの場所の見直しが必要な場所があるのではないかと思います。ＰＴＡと協力しながら検討していきたい。
○保護者としても楽しみにしている行事があるので、広げていけるとよいと思います。楽しさをどうＰＲしていけばよいか。子どもたちの興味を引き出して、それに応えていけるようなことができればよいと思っています。
○通学路の草が多いので、何とかしてあげたいと思います。
○読み聞かせボランティアの人数を増やして、全学年で実施できるようにしたい。
○言語も文化も違う外国籍の児童の指導を支援していただけるとありがたいです。
○いろいろなことを学校にやってほしいという要望がありますが、学校でやること、家庭でやってほしいこと、地域でやらなければならないことを分けて考えなければならないと思います。先生方は労働時間の制約がある中で教科を教えることが第一の仕事ですが、社会が求めているのはそれ以外のことが多いようです。
○工場見学や農業体験ができる地域であり、積極的に協力していただいているので、さらに活用していけるとよいと思います。
○公民館と学校がとどのように連携していけばよりよい子どもの育成になっていくのかを考えています。子どもの意欲を公民館の活動にどう繋げていけばよいかを学校運営協議会で一緒に考えていきたいと思います。

# 令和4年度の具体的実践活動について

令和４年３月３日に開催した令和３年度第４回学校運営協議会では、十小の児童会本部役員児童も参加し、「育てたい十小児童の姿」について、「ゆめ部会ＡＢ」「なかよし部会ＡＢ」「げんき部会ＡＢ」の６部会に分かれて熟議を行いました。その後、学校運営協議会委員と生涯学習課職員で「そのための具体的実践活動」についてさらに熟議を重ねました。

その結果、以下の点を令和４年度の具体的実践活動とすることになりました。

ゆめ部会

○地域を知る活動

○親子活動

なかよし部会

○よい行いをする活動（奉仕活動、修繕活動、など）

○高齢者の方と昔遊び

げんき部会

○地域の方との協働・人材活用（美化活動、専門家の話を聞く）

○小中連携（先輩の話を聞く、中１ギャップ解消）

# ボランティアの募集について

今年度もボランティアを募集します。より多くの方々のご協力をお願いいたします。

**①日本語支援**

十小には、外国籍児童たちのために、「日本語学級」があります。平仮名や簡単な漢字、文を書くなどの学習のお手伝いです。都合のつく曜日、時間でのご協力をお願いします。

**②読み聞かせ**

水曜日の朝の活動の時間に各学級で読み聞かせを行っています。一緒にやってみませんか。

**③花壇づくり**

学校西側歩道沿いの花壇環境整備です。

**④子ども見守り隊**

都合の付く時間帯に、児童の登下校を見守っていただいています。

---------- 切 り 取 り 線 ----------

**※　ボランティア申し込み表**

**☆ご協力いただける方は、学校まで電話連絡（74－8733 教頭・森脇）をしていただくか、以下の用紙を学校にご提出くださいますようお願いします。**

| お名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿<br>（　　年　　組　児童名　　） | 連絡先 |
|---|---|
| ①日本語支援　　（　　）<br>②読み聞かせ　　（　　）<br>③花壇づくり　　（　　）<br>④子ども見守り隊　　（　　）<br>ご協力いただけるものの（　　）に〇をお付けください。 | |